

徳島県立川島中学校

SCHOOL GUIDE 2021

Tokushima Prefectural
KAWASHIMA
Junior High School



県立川島で自分の未来を見つけよう

人は、それぞれ良いところをもっています。
その良さを発見するためには、さまざまな学習や体験が必要です。
県立川島中学校は、さまざまな学習や体験をすることによって、
自分の良さを発見し、一人ひとりの未来をつくる
「夢をはぐくむ」学校です。
さあ、あなたも県立川島中学校で、自分の未来を見つけてみませんか。

今年度の予定

令和2年9月26日(土)

入学者募集説明会(入試要項配布&出願説明)

入学者募集説明会の前に公開授業も行う予定です。
※詳細は1か月前に小学校を通じてご案内します。

令和2年11月6日(金) 出願説明会

校訓
至誠無息

教育目標

高い理想に生き未来を創造する人間の育成
学力と個性を伸ばし、豊かな心と国際性を育てる中高一貫教育

スローガン

「落ち着いた静かな環境の中でじっくり学習に取り組む」

めざす生徒像

学力 高い目標をもち、自ら進んで学力を伸ばす生徒

個性 個性や能力を伸ばし、未来への可能性に挑戦する生徒

豊かな心 豊かな心をもち、人を思いやることのできる生徒

国際性 郷土の文化を理解し、国際社会で活躍できる生徒

川島中学校の一日

登校

「おはよう」の音が教室にひびきます



朝の学習

8:25にチャイムが鳴り、朝の学習が始まります



午前授業

1コマ50分授業です



給食

おいしいデザートもついています



午後授業

月曜日と木曜日は7限授業です



部活動

下校時刻は
4~10月は18:30
11~3月は18:00



中高生が共に活動する学校行事

中学生と高校生が共に参加する学校行事や生徒会活動などを設定することにより、年齢の異なる集団の中で、共に活動し、お互いにふれあうことを通じて、思いやりの心を育て、温かい人間関係を築きます。

●体育祭

最高に輝いた仲間たち 3年(現4年) 真田 千聡 (藍畑小卒)

私のクラスは、リレーで男女共に1位になりました。私は出場していませんでしたので、テントの中で応援していました。みんなと必死で声をかけました。最後のほうは、応援に力が入りすぎて何を言っているのか分からないくらいでした。先生たちや選手、テントの中にいるクラスのみんな、私たち1人1人の頑張りが優勝につながったのだと思います。ひとつになるとはこういうことだと思えました。本当に最高に楽しい川島中高祭でした。

●先輩から学ぶ

見えない努力 2年(現3年) 栗原真果葉 (森山小卒)

実際に高校生の先輩方と向かい合って話ができる機会はなかなかないので、私は今回の「先輩から学ぶ」という授業をととても心待ちにしていました。交流をしていく中で先輩方は私たちの質問に真剣に答えてくださいました。学習の方法や模試、大学入試、部活動についてもさまざまなことを教えていただきました。笑顔で語る先輩方は、裏では数え切れないほどの努力を積み重ねられていて、その裏側を知ることにより一層自分も頑張らなければいけないと決意を新たに、とても有意義な時間を過ごすことができました。3年後、自分たちが後輩を育て、教える側になったときには自信をもって、先輩として胸を張れるように、これからの学校生活を豊かなものにしていきたいです。



入学式



生活オリエンテーション



Waldorf (オーストラリア ハースの交流校) 歓迎式



忌部の郷めぐりオリエンテーリング



AED講習

4月

- 新任式
- 始業式
- 入学式
- 進級・新入生テスト
- 生活オリエンテーション
- 部活動紹介
- 身体計測
- 二者面談
- 忌部の郷めぐりオリエンテーリング

5月

- AED講習
- 中間考査
- 修学旅行 (3年)
- PTA総会・参観日

6月

- 更衣
- 自然体験学習 (1年)
- 実力テスト
- 歯磨き教室
- 校内人権問題意見発表会
- 市中学校総合体育大会
- 期末考査

7月

- 実力テスト
- 川島高校進学説明会
- オープンスクール・参観日
- 防災避難訓練
- 終業式
- 人権問題体験学習 (2年)
- あわ文化体験学習 (2年)
- 市中学校陸上競技会
- 三者面談
- 夏季補習

8月

- 川島高校中学生体験入学
- 夏季補習
- 海外語学研修 (オーストラリアへ)
- 防災体験学習 (1年)
- 始業式
- 課題テスト

9月

- 文化祭
- 体育祭
- 入学者募集説明会



卒業式



職場体験発表会



吉野川市音楽祭



先輩から学ぶ

10月

- 更衣
- 市中学校新人体育大会
- PTA参観日
- 先輩から学ぶ (2年)
- 中間考査
- スペシャルアプローチ開講 (3年)

11月

- 市中学校駅伝競走大会
- 実力テスト
- 職場体験学習 (2年)
- 防災体験学習 (1年)
- 出願説明会
- 生徒会立会演説会

12月

- 期末考査
- 入学願書受付
- 職場体験発表会 (2年)
- 避難訓練
- 終業式
- 冬季補習

1月

- 始業式
- 課題テスト
- 入学者選抜
- 市中学校新人駅伝競走大会
- あわ文化検定 (1年)

2月

- 県中学校新人駅伝競走大会
- 学年末考査

3月

- 実力テスト
- 卒業式
- 入学者説明会
- 終業式
- 離任式



修学旅行



自然体験学習



校内人権問題意見発表会



福祉体験学習



識字学級訪問



あわっ子文化大使認証式



川島劇場 (文化祭)



食品パザー (文化祭)



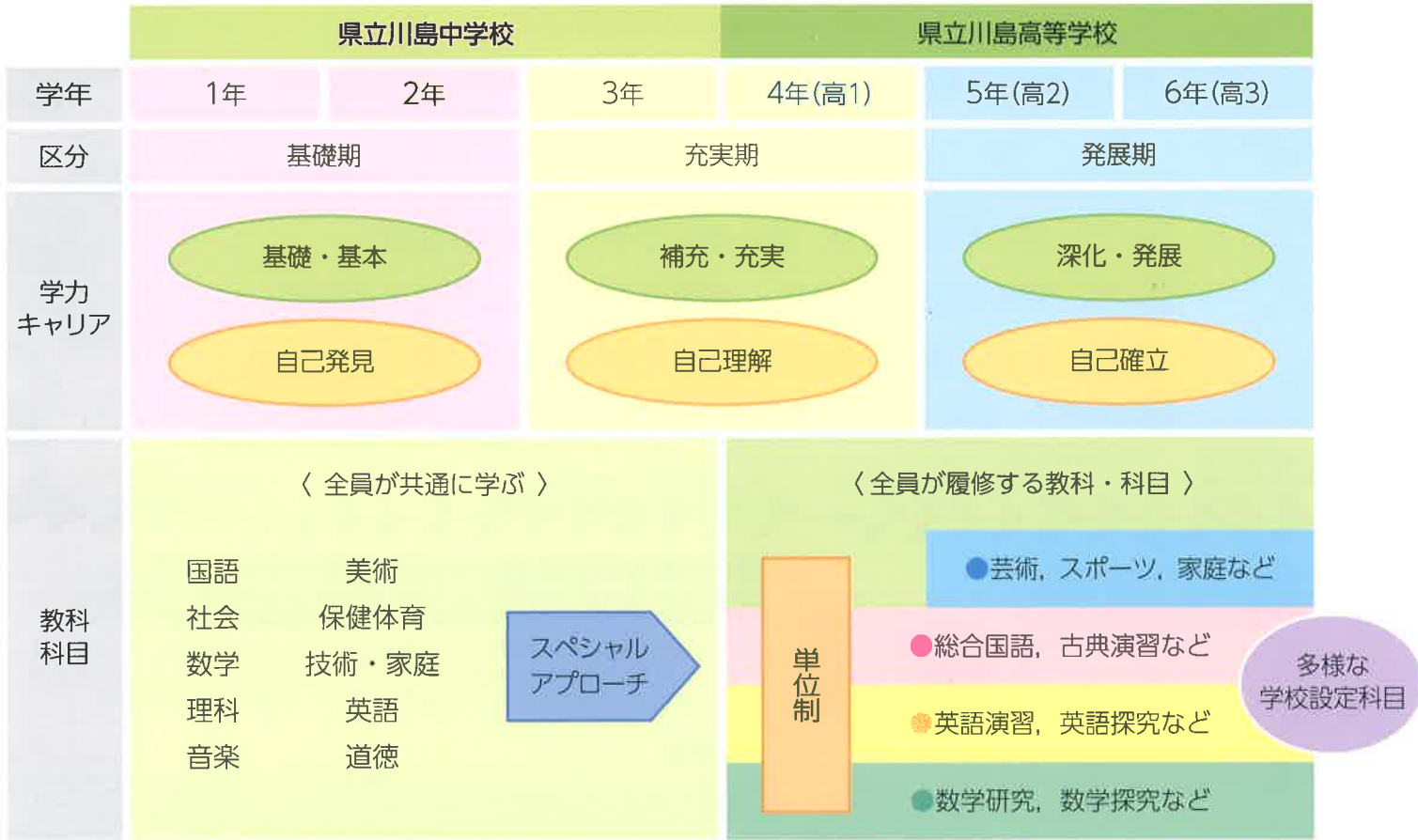
体育祭

「単位制」を活かした中高一貫教育

生徒の能力・適性、興味・関心、進路の希望等に応じて、主体的に科目選択ができる「単位制(高校)」の特性を活かし、生徒一人ひとりの学力と個性を伸ばし、夢の実現をめざします。

そのために、教育課程を6年間見通して、2年ごとに基礎期、充実期、発展期に分け、「学力」と「キャリア」の両面から、計画的、継続的な教育を展開します。

◆6年間の教育の流れ◆



本校独自の総合的な学習の時間

本校では、総合的な学習の時間を、国際性を育てる「グローバル」と生きる力を育てる「フューチャー」に分けて、独自の取り組みを行っています。

●国際性を育てる「グローバル」

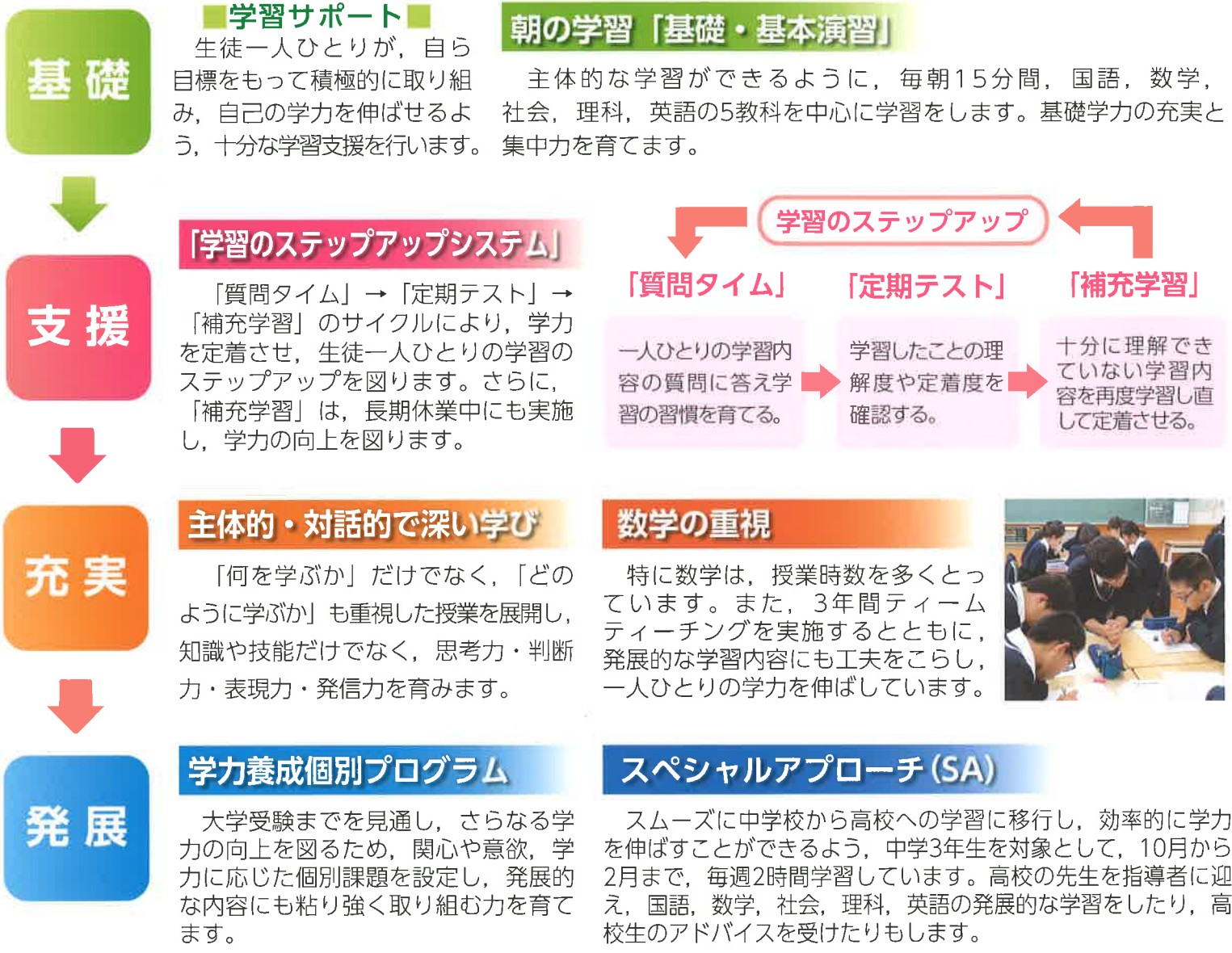
地域から日本へ、さらに世界へと、広がりをもって学習することにより、国際性の基盤を養います。また、英会話を中心として、実践的なコミュニケーション能力を育成するとともに、国際交流の機会等を通じて、国際性を育てます。

●生きる力を育てる「フューチャー」

高校卒業後の進路を見通して、未来の自分を描き、現在の在り方や生き方について考えるキャリア教育に取り組むとともに、様々な教科の体験活動やもの作り活動などを通して、生きる力を育てます。



学校で学んだことが、明日、そして将来へつながるように、 県立川島中学校での学びが進化します!



●スペシャルアプローチ(SA)の作文

先輩が教えてくださったこと 3年(現4年) 高橋 実玖(鶴島小卒)

3年生になると、秋にはSAが始まります。私は、高校生が来てくれる特設SAで数学を受けました。授業は班に分かれて、1班に2人の先生(5年生の先輩)がついてくださり、プリントの問題を自分から質問して、それらを教えていただくという形式でした。プリントの問題だけでなく、高校生活についても優しく教えてくださり、みんなが終始笑顔で温かい雰囲気でした。丁寧に分かりやすく教えてくださり、会話も楽しかったので50分が過ぎるのはあっという間でした。

今回の特設SAに備えて、たくさんの準備や計画を立てて臨んでくださった先輩方や高校の先生方にとっても感謝しています。2年後は逆に、私たちが後輩に教える番です。教えてくださった先輩方を見習い、丁寧に分かりやすく、そして優しく教えてあげられるような、そんな先輩になりたいです。そのために、勉強も生活も充実させたいと思います。2年後がとても楽しみです。

未来へつながるSA 3年(現4年) 加藤 成騎(川島小卒)

今回のSAは、高校の各教室にある電子黒板を使ったクイズ形式で進んでいきました。板書の必要がないため、無駄な待ち時間がなく、早いテンポで出題されていました。内容も授業ではあまり習わない常識的な知識を問われたり、今までに習ったことを応用すれば解けるものだったり、普段とは一味違う感じでした。そのため新鮮な気持ちで授業を受けられ、いつも以上に自分の意見を積極的に発表することができました。また今回の授業には模試で出てくるような問題もあり、新たな刺激になりました。

こういった刺激を受けることにより、普段の学習がより楽しくなりました。今まで習ったことが高校で役に立つと実感できたからです。また高校の授業スタイルを知ることによって、高校進学への自信と準備につながると感じました。高校の授業が受けられるのは中高一貫校である我が校の特色です。私たち県中生はその特色を活かし、高校、大学と未来へつなげていきたいと思っています。

豊かな人間性を育てる体験活動

中学校では「豊かな学び」をめざし、さまざまな体験を行うことを重視しています。その体験から生まれる豊かな経験によって、社会性や人間性が生まれ、自分の未来を見つける基礎が培われるものと考えています。

自然体験学習（1年）

自然の中で活動することにより、協力や規律の大切さを学び、自然環境や友だちを大切にすることを学びます。

あわ文化体験学習（2年）

徳島県の伝統産業である藍染めや伝統文化である人形浄瑠璃などの体験を通して、ふるさと徳島の魅力を県内外に発信できる人材を育てます。

修学旅行（3年）

日常経験しない土地の自然や文化を見学し、学習するとともに、恒久の平和について学び、心身の発達、学校生活の充実を図ります。

防災体験学習（1年）

各種災害に対する知識を習得するとともに、いのちの大切さと助け合うことの大切さを学んでいます。

職場体験学習（2年）

職業の体験を通して社会につながることで、将来の自分を見通した、正しい職業観や勤労観を育てます。

進路体験学習（3年）

将来を見据えて、自分に合った進路選択ができるように、大学視察等を行い、キャリア教育を充実させます。



自然体験学習



防災訓練



修学旅行

自然体験学習

自然体験学習の思い出

1年（現2年）濱 絢音（山瀬小卒）

6月3日・4日の自然体験ではさまざまなことを体験したり、学んだりすることができました。特に私が楽しかったことはカヤックです。カヤックやジャンボカヌーの他にもキャンプファイヤーやYMCAのご飯もすごくよかったです。小学生のときの修学旅行とは違って、出会って2か月ほどの新しいクラスメイトとの2日間は、とてもよい経験になりました。この経験を活かして、これからも「支え合う仲間づくり」を頑張っていきたいと思います。

職場体験学習

夢に向かって

2年（現3年）藤本まなみ（川田小卒）

私は、川島こども園で職場体験をしました。この体験から、保育士の楽しさや大変さを学びました。私は、小さい頃から保育士になりたいという夢をもち続けていました。友人の弟や妹、小さな子どもたちと一緒に遊んだり、触れ合ったりする機会もたくさんありましたが、今回は職業として実際に体験して、絶対保育士になると決心することができました。夢を実現させるためにこれからも勉強や運動をしっかり頑張りたいです。

修学旅行

命を大切な宝として

3年（現4年）野口 杏樹（一条小卒）

修学旅行の1日目には、平和学習として、ひめゆりの塔や平和祈念公園をはじめとする、沖縄の戦争に関する場所を訪ねました。私は、この修学旅行を通して平和が当たり前ではないことを知りました。沖縄には「命がなによりも大切な宝」という意味の「命どう宝」という言葉があるそうです。戦争に関する場所を訪ねて、私はその言葉がとても深く重いものだと感じました。私は、命を大切にすることと平和を保つことは同じようなことだと思えます。これからは戦争があったことを忘れず、命を何よりも大切な宝として生きていきたいです。

海外語学研修

国際社会で活躍できるグローバル人材育成をめざし、オーストラリアの南西部パースにあるPerth Waldorf Schoolでの語学研修を実施しています。



部活動

中学校では、健全な心身や温かい人間関係を育むために、部活動を実施しています。現在、活動中の部活動は、次のとおりです。



県内の公立中学校初の硬式野球部として、外部のクラブチーム「徳島ウエストヤング」と連携しながら活動しています。中学生の時から硬球に慣れ親しみ、3年生の秋からは高校の練習にも参加できます。



時には高校生と共に練習をしながら日々努力しています。昨年は、他校との合同チームで、市新人戦で準優勝することができました。一緒に切磋琢磨できる仲間を待っています！



女子バスケットボール部は「明るく！楽しく！」をモットーに、体育館での練習に励んでいます。初心者が多いですが、チームプレーのおもしろさや仲間と協力することの大切さを学ぶことができます。



私たちは、指導してくださる先生方のもと毎日楽しく活動しています。練習は勿論キツイですが、休憩中に先生と話したりなど、楽しいことも沢山あるため、毎日ワクワクしながら練習に行っています。



今年度、新しい部員を迎え、また新たな気持ちで、毎日練習に取り組んでいます。それぞれが自分の課題を見つけ、技術の向上だけでなく、精神面も磨いていっています。



限られた場所と時間の中でも、基本練習を大切にしています。そして、互いにアドバイスし合っ、チーム全体の技術を向上させています。仲間の存在の大きさ、協力することの大切さを実感できます。



私たちは高校生と一緒に一生懸命活動しています。厳しく時に面白い先生方、優しい先輩、かわいい後輩、皆で支え合い、共に高め合いながら頑張っています！



高校生の先輩とともに、高校美術室で活動しています。専門的な知識を持っている高校美術の先生に指導してもらっています。レベルの高い内容ですが、和気あいあいと活動しています。



仲間たちとの対局が1番の楽しみです。将棋の中継放送なども参考に、各々の技術力を向上させています。挨拶や対局のマナーを大切に日々の活動に取り組んでいます。



英語の歌をうたったり、ゲームをしたりします。英語で歌うと、外国語で歌うことができるという実感がわいてきて、やりがいを感じます。ゲームは楽しくて自然に英語に親しむことができます。



月に1度、社会福祉施設を訪問し、レクリエーションを通じて入居者さんと交流しています。高校生の先輩方と協力し、「気づき・考え・行動する」ことを目標に活動に取り組んでいます。



市総体壮行式

部活動から得ること 2年 早雲 奨真（知恵島小卒）

僕はソフトテニス部に所属しています。部活動は、僕の中では楽しいだけでなく、先輩や後輩達とのコミュニケーションを養える場だと思っています。部活動内だと先輩とも気軽に話せて、仲間との輪を広げていくことができます。また、顧問の先生や、先輩方からテニスの技術や礼儀など、さまざまなことを教えてもらえます。この礼儀は、大会や練習試合、日常生活でもかかすことのできないことばかりだと思います。僕も先輩方が教えてくれたことを、後輩へとバトンを渡しながら部活動に励みたいです。

放課後の楽しみ 2年 熊本 愛美（川島小卒）

私が所属している音楽部は、高校の先輩・先生と共に1つの音を作り上げています。おもしろくて優しい先輩や先生と練習するのはとても楽しいので、毎日ワクワクしながら音楽室に向かっています。音楽部には、たくさんの演奏の場があります。私が印象に残っているのは、文化祭での演奏です。お客さんの手拍子で会場は盛り上がり、演奏している私自身もとても楽しかったです。私は音楽部に入部して、仲間と共にやり遂げる素晴らしさを感じることができました。これからも大きな舞台に向けて、日々練習に励もうと思います。

川島高校卒業後の進路・進学

●過去5年間 学校種別合格数

卒業年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
国立大学	27	24	13	13	26
私立大学	61	76	87	84	120
短期大学	11	15	8	13	12
専門学校	52	59	61	62	48
就職・公務員	19	25	16	19	20
主要な進学先	東 北 大 大 阪 大 横 浜 国 立 大 広 島 大	東 京 外 語 大 広 島 大 岡 山 大	広 島 市 立 大	徳 島 大 (医/医) 大 阪 市 立 大	広 島 大 徳 島 大 (薬/薬)

●昨年度の国立進学先

- 室蘭工業大
- 香川大
- 福知山公立大
- 茨城大
- 愛媛大
- 香川保健医療大
- 広島大
- 高知大
- 愛媛医療技術大
- 徳島大
- 長岡造形大
- 公立鳥取環境大

国立大学合格数26名中
県立川島中出身者は22名

中学1年の保護者より

県立川島中学校を意識するようになったのは、知人から話を聞いたのがきっかけです。我が家からは少し遠く、自転車通学は難しい距離。交通の便も悪いため、それまでは意識したことはありませんでした。しかし、オープンスクールがあると聞き、興味本位で参加してみることになりました。校内に入ると、温かみのある木造校舎がとても印象的で、授業体験や先生方からの説明を聞き、とても好印象をもちました。すると、子供が「この学校に通いたい。」と言い出しました。少し遠いことが心配でしたが、子供の意志を応援することになりました。

無事入学することができ、初めての参観日。内気な性格のため、「ちゃんと友達できているかな。」と心配しながら教室をのぞきました。すると、今まで見たことのない笑顔で、いろいろな友達と話している姿を見て、とても驚きました。勉強は大変そうですが、優しい先生やクラスメイトにめぐりあうことができ、この学校を選んで本当によかったと思います。学校生活は始まったばかりですが、中高一貫教育校の特色を生かして、いろいろな経験を積み、大きく成長して欲しいと思います。



卒業生からのメッセージ

2019年度卒業生

広島大学 総合科学部 1年 谷 朋香 (川島小卒)

私は、県立川島中学校、高等学校の6年間を通して、入学当初の自分と比べて大きく成長できたと感じています。

中高一貫校である県立川島中高では6学年が同じ敷地内で学校生活を送ります。文化祭や体育祭などの学校行事や一部の部活動は合同で行われ、中学生と高校生の間での交流が盛んです。また、高校の先生や高校生からのアドバイスを受けられる行事などが開催され、中学校を卒業した後の生活、その先の進路決定を意識しながら生活を送ることができます。

学習面では、定期テスト前の質問タイムやテスト後の補充学習など、苦手な科目で終わらせない指導が、高校入学後とても役立ちました。また、中高合同でのオーストラリア語学研修では、学んだことを実際に使う経験や新たな友達ができ、英語学習のモチベーションにつながりました。

県立川島中では勉強、部活動などの成長はもちろん、自分自身の夢、進路実現に向けて努力することができます。そして、ともに切磋琢磨しあえる仲間、支えてくださる先生方、新しい自分と出会えるチャンスが多くあります。みなさんも充実した学校生活を県立川島中で送ってください。

2019年度卒業生

徳島大学 薬学部 1年 新居 千夏 (飯尾敷地小卒)

私は、県立川島中学校には、勉強面において、2つのいいところがあると思います。1つ目は中高一貫校であることです。中高一貫教育を生かした数学の先取り学習により、中学に入学した時から6年後の入試を意識した学習を行うことができます。また、先輩である高校生に勉強について話を聞く機会や、勉強を教えてもらうこともあり、勉強するモチベーションを高く保つことができます。

2つ目は、県立川島中学校では、卒業までに、英検3級と、漢検または数検の3級を取得することを目標としており、ほとんどの生徒が達成することです。検定では、定期考査とは違う視点から学力を測ることができるので、高校に入学してから模試を受けるときに、英検で培った英語力が役に立ったと感じます。

テスト前の質問タイムや補充学習など、知識を身につける機会も豊富にあります。私は、このような経験から、主体的に学習に取り組むようになったと感じています。みなさんもぜひ、県立川島中学校に入学し、希望する進路を叶えてください。

徳島県立川島中学校・高等学校

〒779-3303 吉野川市川島町桑村367番地3
TEL:0883-25-2835 FAX:0883-25-5340
E-mail:kawashima_jhs@mt.tokushima-ec.ed.jp
URL:http://kawashima-hs.tokushima-ec.ed.jp/

JR 四国 徳島線 阿波川島駅下車 徒歩約10分